

最上町 地域おこし協力隊

TEAM : Trova!

(メンバー)

☆宮本 浩

☆岸 優太

☆鈴木 天民

☆玉浦 翔平

☆玉手 孝行



“Trova (トローバ)”とは、イタリア語で「見つける」
最上町にある魅力を見つけて発信していくという思いを込めました

最上町地域おこし協力隊 “Trova!”メンバー 3年後のビジョン



- ①(開けてビックリ!玉手箱のタマテ 玉手 孝行)
- ☆社会の問題を解決すると同時に、新しい価値を創出し、画期的な仕組みをつくること。
 - ☆地域社会で稼げる仕事を創り出し、社会起業家なる

- ②(最年少23歳 “地域あらし” 玉浦 翔平)
- ☆社会人としてより地域社会に貢献できる人材となり、己の存在価値を高めるために隊員に着任
 - ☆協力隊という立場を最大限に活用し、知見を深めていく





③(人と人を結びたい! 宮本 浩)

- ☆ 町内外の人が愛して住みたくなる仕掛けを提供していく
- ☆ 人と人を結びつけ、人・町を元気にする仕事の新しいスタイルを確立させる

④(培った経験を地方で活かす! 鈴木 天民)

- ☆ 活動終了後、持続可能な仕組みを残す
- ☆ 協力隊活動を経験し地域社会で起業する術を習得する



⑤(Uターン者の視点! 岸 優太)

- ☆ 最上町の資源を商品化し、販売・集客の仕組み構築
- ☆ 四季ごとに町の特性を活かしたイベントの実施

Trova! “スローガン”

- ①地域おこし協力活動を心から楽しむ！
- ②よそ者・若者・バカ者の視点と価値を大事に！
- ③各々の夢・目標・思いをカタチにしていく！

Trova! “コンセンサス”

- ①隊員の社会的生産性を高めるために、
定例で活動報告会を開催すること
- ②週1でミーティングを実施し、
協力・連携を図り地域の広域で活動すること
- ③協力隊オリジナルのイベントを開催すること

情報発信

facebook

ITSの活用の価値を活動開始から認知し隊員独自で
Facebookページを開設。活動を情報発信する
⇒現在、「いいね」ファンが184名
⇒週間約1,300名が閲覧中

The screenshot shows the Facebook profile page for the 'Trova! ~Smile to Mogami~' team. The profile picture features a group of people walking on a street with a 'Trova! ~Smile to Mogami~' logo overlaid. The cover photo shows a street scene with a sign for 'アイワサービス大石 マルシメ 大石'. The page includes a '管理者用パネル' (Admin Panel) at the top, a 'Facebookページを編集' (Edit Facebook Page) button, and a 'ファン数を増やす' (Increase number of fans) button. The page information shows 153 likes, 117 people who have interacted, and 3 check-ins. The location is listed as 山形県最上郡最上町大字向町644. There are also buttons for '写真' (Photos), 'いいね!' (Like), '地図' (Map), and 'Twitter'.

The screenshot shows a Facebook post from the 'Trova! ~Smile to Mogami~' page. The post is dated 8/24 (土) - 8/25 (日) and is about a festival in Oyamada, Fukushima. The text of the post reads: '東京板橋区にあるハッピーロード大山商店街が主催する「大山ふるさと夏まつり 2013」に 今年も 自然があふれる田園空間 最上町は出店します! ... もっと見る'. Below the text is a photo of two people in green and red costumes, resembling stylized trees or plants, at an outdoor event. The post has 777 likes and a '投稿を宣伝' (Promote post) button.



最上町 地域おこし協力隊Blog

ブログ開設

(5/1~10/23現在 訪問者数10,196 PV28,036)

ブログ活用による情報発信で、

- ① イベント参加のオファー
- ② TV取材の機会創出
- ③ 最上町、協力隊のファン獲得など
効果的な付加価値を生んでいる。

URL

<http://www.mogami.tv/chiikiblog/>





独自のドメインを作成 地域のイベントや伝統芸能 などの動画を世界に発信

The screenshot shows a YouTube channel page for '地域おこし協力隊 最上町' (Regional Revitalization Cooperation Team, Yamanashi). The channel name is visible in the browser tab. The page displays a list of video uploads:

- Video 1:** 瀨見温泉流しそめん準備の様子 (Preparation for the Seme-n festival at Seme Onsen). Uploaded 3 weeks ago, 41 views. Description: 7月28日(日)と8月4日(日)午前7時~瀨見温泉にて、夏の風物"流しそめん"が開かれます。その準備の一コマです。竹を手で割っていく様子です。
- Video 2:** 最上地域森の感謝祭~復興絆の森づくり~「森の音楽会」Part1 (Samae Forest Festival ~ Recovery Bonds Forest Creation ~ "Forest Music Concert" Part 1). Uploaded 1 month ago, 252 views. Description: 最上町の未来を担う子供たちと東日本大震災の被災地のみなさん、そして森林環境の保全に携わる方々が集い、森づくり活動等を通して復興"支援"にむけた絆づくりを深めながら、森林保全や里山文...
- Video 3:** 最上地域森の感謝祭~復興絆の森づくり~「森の音楽会」Part2 (Samae Forest Festival ~ Recovery Bonds Forest Creation ~ "Forest Music Concert" Part 2). Uploaded 1 month ago, 194 views. Description: 最上町の未来を担う子供たちと東日本大震災の被災地のみなさん、そして森林環境の保全に携わる方々が集い、森づくり活動等を通して復興"支援"にむけた絆づくりを深めながら、森林保全や里山文...
- Video 4:** ハーベス刈による間伐の様子(最上町) (Harvesting by thinning in Samae Town). Uploaded 2 months ago, 87 views. Description: 山形県最上町の大きな特徴の一つと言えば、"再生可能エネルギー"。最上町は四方が山に囲まれ、面積の約8割が森林という特徴の町です...

活動実績

2013年10月現在

～協力隊プロジェクト～

はなさけちびっこガーデン！！

目的

- ① 児童、自ら花や野菜を育て、収穫し、日常生活で利用することによって収穫の喜びや感謝の気持ちを育む
- ② 地域住民との協働作業によって、地域住民との交流を図り、高齢者の知恵、技術を体験学習し、尊敬の気持ちを育む
- ③ 新しいプロジェクトに挑戦する機会を提供することで、主体的な行動をとれる人材育成を図る

(活動内容の流れ)

- ①事業計画作成 → 提案
- ②保育所側との打ち合わせ
→ 合計20回
- ③耕作、作付、雑草処理、
収穫など
→ 作業回数 合計15回
- ④地域住民との打ち合わせ
→ 合計5回



地域住民と園を“つなく”企てを起こし、 子どもたちが楽しめる工夫をこらす



成果発表！



- **ちびっこガーデンの活動をきっかけに、大堀保育所周辺集落の老人会やサロンの方々との交流を創出することができた！**
- **さらに、『ちびっこガーデン』の活動だけではなく、保育所独自の行事などでも積極的に交流が行われるようになった！**

ふるさと納税

ふるさと納税UPへの取組み(1)

●**ふるさと納税UPって、何？**・・・町外の方から寄附(ふるさと納税)という形で、町を応援してくれる人を増やす取組み。ふるさと納税してくれた方にはお礼品として町の特産品を贈っている。

●**目的**・・・①**自主財源の確保** ②**町の特産品のPR**

・24年度の最上町の実績は件数で**10件/年**(27位/35市町村)、金額で**64万円/年**(31位/35市町村)にとどまる。

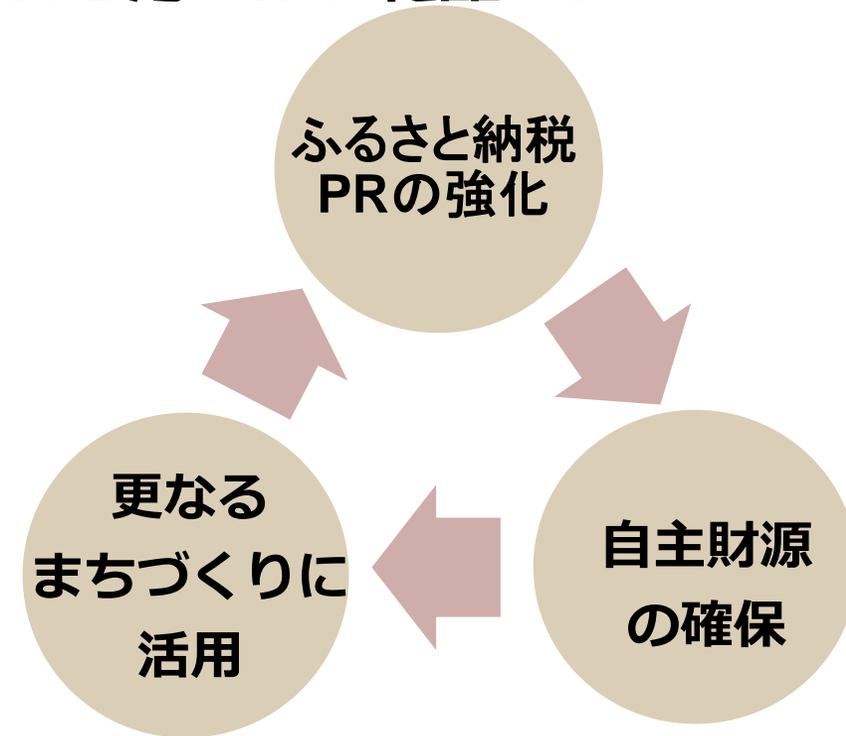
・ふるさと納税をUPさせることで、自主財源を確保できれば、地域活性化の財源として活用可能。

●**メリット**

・町(行政)・・・自主財源が確保できる。

・町(生産者)・・・町の特産品がお礼品として贈られることで収入UP!

・納税者・・・次年度の所得税や住民税控除が受けられる上に、町の特産品をもらえる。



みんなが
Win-Win

ふるさと納税UPへの取組み(2)

●実施した施策

- ・町HPでのふるさと納税専用のPRページを作成。
<http://mogami.tv/machizukuri/chiiki-zukuri/furusato-tax/>

・納税者へのお礼品(町の特産品)の充実

⇒同時に町内の特産品のPR効果も狙っている。

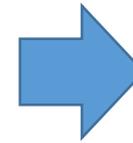
- ・広報活動(PR用パンフレットの作成と配布、
ポータルサイト等への掲載、過去の寄付者へのPRの実施)

●成果 7/18HP公開後、約3カ月で936件の寄付申し込みあり(前年比94倍)。入金済金額8,096千円。

●今後の施策

- ・お礼品(町の特産品)の生産者の声のPRページの作成。
…生産者の声を納税者に繋げる取組みにより、
最上町への応援者を増やしたい。
- ・クレジットカード決済(Yahoo!公金支払い)への対応(12月開始予定)

最上のまち「最上町」を応援！ ふるさとものがみ応援基金(ふるさと納税)



◆◆歴史と温泉と緑の町◆◆

最上町は、山形県の北東部に位置し、秋田県、宮城県などに隣接する山々に囲まれた自然豊かなまちです。基幹産業は稲作を中心とした農業で、畜産やアスパラガス等の園芸作物を組み合わせた複合経営を推進しています。また、温泉や高原を利用した観光に力を入れており、県内外から多くの観光客が訪れています。一方で集落機能を維持し、地域課題を解決するため、地域力向上を目指した「自治協働のまちづくり」に取り組んでいます。

ふるさと納税制度で最上のまちづくりに応援をお願いします！



ふるさと納税制度は「ふるさとを応援したい！」「出身者ではないけれど最上町が好きだから応援したい！」という想いを寄附という形で応援する仕組みです。ふるさと納税制度で寄附されると、納税者本人の個人所得税や住民税の一部が控除されるという優遇措置が適用されます。最上町では『ふるさとものがみ応援基金条例』を創設し、皆様からいただいた寄附を子育て支援、健康と福祉、地場産業の振興、環境にやさしいまちづくりのために活かしてまいります。

●納税者様から届いたメッセージ(一部紹介)

- ・山形の人のおやさしさ・・・暖かさに驚きました。食べ物も美味しいし、また行きたいです！
- ・梅雨末期の雨は大丈夫ですか。自然が相手の農産物は本当に大変だと思いますが、すばらしい品質の国産を守っていくために頑張ってください。
- ・健康福祉ツーリズムのプログラム開発に期待します。農業、林業、酪農の6次産業化も進めてほしい。
- ・私の生まれ育った環境と似ていて、巨樹・巨木に癒されます。少しですが町の発展に役立ててください。
- ・学生時代には赤倉温泉スキー場に毎年行っていました。スキーといえば赤倉という感覚が今でも残っています。またお邪魔することがあると思いますが、当時のままの温かい町であって頂きたいと思います。
- ・今まで十数回全国を転勤してきて、地方部は特に“住めば都”を肌で感じてきました。特に山形には4年間も住みましたので、山形県の皆様のために少しでも貢献できればと思いました。応援しております。
- ・緑の町というだけあって豊かな自然がたくさんですね。特に前森高原がとても素敵な場所だと思います。暑い夏にはこんな高原でのんびり過ごしたいものです。50年先も100年先もこの緑豊かな自然が体験できるようなまちづくり頑張ってください！
- ・「さとやま学校」に参加し、町の担当の方や地域の農家の方々に大変お世話になり、楽しい体験をさせてもらいました。そのお礼の思いを込めて、ふるさと納税をします。
- ・最上町の、ふるさと納税が充実したものとなり、感激しています、町の発展の一助となることを期待しています。

最上町伝統芸能(瀬見) 義経 弁慶太鼓 継承活動

瀬見地区に伝承されてきた「義経・弁慶太鼓」。瀬見の歴史と魅力を表現し、地域のコミュニティ形成、人材育成、地元愛育成など重要な意味と価値を成す組織。

しかし、少子高齢化と人口減少の影響で活動人数が減少。

継承の一端を担うべく隊員が構成メンバーとして活躍中。

10月現在、2回発表中。



行政と地域コミュニティをつないだ コーディネーターが、食育プロジェクトに!!

行政サイドの企画を具現化するために
地域コミュニティ組織への依頼と支援。



具現化した資源を食育の一環として
活用中。地域の未来創造に貢献中。



“デザイン”による地域おこし活動

**地域資源を磨き、輝かせる！
魅力をPRすること！**

**ロゴをデザインすることによって、
新しいアイデア
創出に発展！**

**“販売”の意思と意欲
への新しい価値のきっ
かけとなるPOP作成。
仙台百貨店での使用へ
と発展！**

もがみまち
えがおまち プロモーター

町おこし協力隊 玉手さん提案のイラストをもとに
キャッチコピー、追加情報（山形県）などを付けたし
10版として加工させていただきました。

「はりも」の皆さんが作成されたマスコットは1名につき
2種程度を陶元、もしくはキャップの横に着けることで
それぞれのかわいらしさを強調できると考えます。印刷や
パッチといった平面的なものではないので、カラフルで
立体的なシンボルとして印象づけることができます。

5cm X 5cm 加工原寸

→150～160cmの中学生向けに
裁断、縫製加工も可能です。

ヤハキ企画

山形県 最上町
グリーンアスパラガス

最上伝承野菜
赤にんにく
長く厳しい冬に
備え知恵を
こらして先人が
育んできた
野菜と食文化が
ある

おがの 生で辛！ 最上 伝承野菜
むががら パワの 火を通して 甘っ！
源 赤にんにく
生産者は生の味
がアツク食べて
白性仕事に力を
出しています

上巻杉「最上清流まこもの会」の農場
どこでも群生している“マコモ”、そのマコモが食べておいしい
マコモダケになる理由は知っていますか？その答えはこちら！
火打岳からの恵みの清流で育ったマコモダケの味は絶品、
おまけに農薬無散布で安心のマコモダケをご賞味ください。

山形県最上町産
マコモダケ

もがみ里山学校の運営

町外の農業・林業に興味持っている方を対象とした

無料の農林業体験ツアー

最上町の農業・林業などを知ってもらい移住につなげたい

無料体験

もがみ里山学校

さとやまがっこう
山形県・最上町の里山(もり)を体験しませんか



山形県の北東部奥羽山脈に抱えられた最上カルデラの自然に囲まれた最上町で、
恵みの秋に最上町の里山(もり)を体験しませんか？
農業や林業を体験し、最上の豊かな「食」「温泉」「自然」を感じませんか？

申込締切 9/20 (金)

2泊3日コース 20名 限定(抽選)

平成25年10月12日(土)～14日(月・祝)

募集対象 小学生以上(年齢・性別は問いません)
※小学生未満のお子様は申込の場合無効となります

体験内容 農業体験 稲刈り、脱穀など
林業体験 下刈り、剪定、伐採、薪作り
郷土料理作り・懇親バーベキューパーティー
などなど

最上町の指定の場所までは、ご自身のご負担でお越しください。
また、作業に伴う手袋、靴・長靴、タオル、カップ等はご自身でご用意ください。
最上町では、コースの体験費用、宿泊費(朝晩の食事)体験時の昼食、体験時の移動費を負担します。
宿泊の部屋割りは、相部屋を原則としますのでご了承ください。





今後のもがみ里山学校について

来年以降も継続して取り組み

**最上町のPR・定住につなげる
里山ツーリズムにしていく**



僕たちがやりたいこと

僕たちができること

地域が求めていること

活かしてもらおう“人財”になるために

- ◎ やりたいことを言葉にして伝えること
- ◎ 情報発信を明確に行い、届けること

- ◎ 協働してプロジェクトを創り上げること
- ◎ 任せてもらえる立場を構築すること



ひとつのイベントで地域と協力隊が協働・ コラボレーションして未来創造を図る

素敵なアイデアを共有して、ブレスト
すること。そして、具現化していく行動を
協働で起こしていくこと。

成果・結果が見えてくれば、協力隊と協働
してモノゴトを起こしたい人材・集落が
増えていく。気づきをプレゼントしたい。



**そして、
地域を巻き込んだ**

**地域の“困りごと”。
それを、
カタチにする行動を
協働でやる価値。**

プロジェクトへ展開



赤倉温泉 豆・栗多月 ～竹akariプロジェクト～

巻き込み①

地域住民の竹林を一緒に間伐する



巻き込み②

旅館部会のメンバーと一緒に作業！



目に見える成果・結果を出せれば“巻き込み”をおこせる！それが“協働”の地域づくりへと成る。

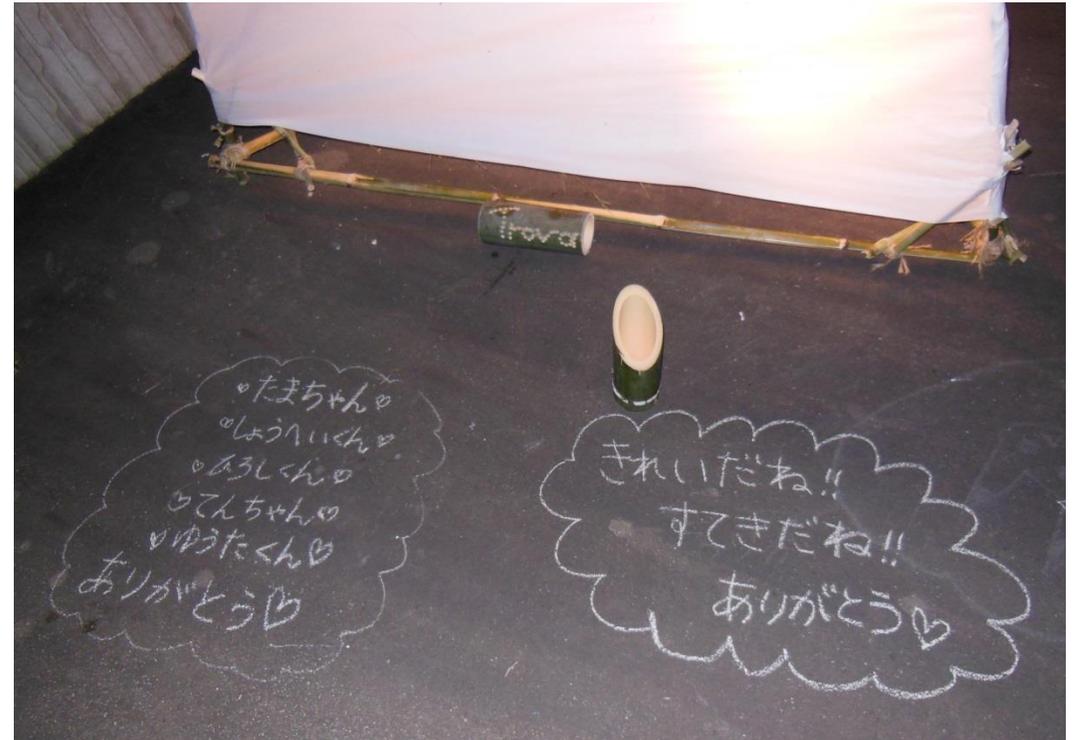
巻き込み③

“協働作業”をカタチとして結果に出す



巻き込み④

人に感動を与え、“参加型”に展開する



豆名月から、栗名月でおきた変化

巻き込み⑤

地元幼稚園を巻き込んだプロジェクトへ



巻き込み⑥

子どもが参加すれば、親族も参加へ



元気な人が集まる場に 人が集まる
笑顔があふれる場に 人が集まる
楽しい人がいる場に 人が集まる



部外者である地域おこし協力隊の役割

- 「よそ者」という立場を活かし、地域の「刺激」と「火付け役」になる
- 自分達の住む地域について考える「きっかけ」を創りだす
 - ⇒ 地域の未来を本音で語れる環境作り
- 地域を巻き込み、バラバラの「問題意識」や「潜在的やる気」を住民主体の「実感の伴う」活動にする
 - ⇒ 「正解」がない中で「納得解」を創出する協力
- 最上だからこそその「資源」と「強み」を再発見し、オンリーワンの「魅力」として発信する
 - ⇒ 地域の誇りや尊厳を認識し郷土愛を育むための協力

※住民一人ひとりの潜在的ニーズ・思い・ビジョンを
具体的な「カタチ」にする協力

地域おこし協力隊の社会的生産性向上の条件

- 具体的な「まちづくり」「地域おこし」を考えているのか、受入側は明確なビジョンを持ち、隊員本人も明確なビジョンとミッションを持つ。
- 地域の「現状」と「理想像」との間に在る課題を改善していくため、内部者・外部者各々に何を求めるのか、達成する役割と位置づけを明確にする。

実行しながら変化していくことが大前提とはいえ、
本人が来た段階でしっかりとやるべき方向を示す必要性がある。

「地域」「行政」「協力隊」

三者の思いがシンクロしてこそ、制度の威力が発揮される

あなたの「ほしい未来」は どんな未来ですか？

いんげんしきはたして
いのひにか かえらん
やまはあおき なるやと
みずはきよお なるやと

いんげんしきはたして
いのひにか かえらん
やまはあおき なるやと
みずはきよお なるやと